

中国・四国地方		
宣言タイプ	★	全国の支店、代理店に対する情報セキュリティの啓発ツールとしてSECURITY ACTIONを活用
業種	建設業	
従業員規模	51～100名	ハイスピードコーポレーション株式会社
業務のIT依存度	4	

きっかけ

全国の代理店からの情報は自社のウェブサイトであって、保存している図面には顧客の住所、施工主情報などの重要情報があるため、これらの情報を確実に守る必要があることから、SECURITY ACTIONの活用を考えた。



効果

- セキュリティに人材を割けないなか、管理者自身が他の従業員に対して「情報セキュリティ5か条」のように、できるだけ専門用語を使わないように意識することで、必要な対策を分かってもらえるようになった。
- 全国の代理店に対して、基本的なセキュリティ対策の重要性とともに、特に共通のウェブサービスを利用することに伴う「パスワードの強化」の重要性について適切なアナウンスを行うことができた。

工夫

各支店や代理店に管理者を置けないなか、以下のような工夫を実施。

- PC配布時に共有設定、USB禁止設定
- サーバ接続時は専用アプリを利用
- 支店フォローのため、本社から遠隔操作ソフトを活用して支援

■ 企業紹介

住宅や店舗、アパートなどを建築するお客様に安全な地盤を提供できるよう地盤調査、改良を行っている。また、独自改良工法「HySPEED工法」の技術本部として160社の施工代理店と協力し、全国展開している。本工法は天然砕石を使用した将来に亘って土地が劣化しない、環境にやさしい工法となっている。

実施者のコメント

■ 代理店の講習・テストのIT化

各県の代理店には、本社である当社に来てもらい、更新の講習とテストを受けていただいていた。今後、Webを使いストリーミング形式で講習やテストができるよう環境整備を進めている。

すべてをWebで対応することからIDとパスワードの管理が非常に重要になり、管理を強化する予定である。



■ 施工確認の報告もIT化を検討

今までは、地盤調査や施工確認などの結果報告のため、一度会社に戻ってPCで報告書を作成していた。この報告を会社に戻らなくても対応できるよう、タブレットを使ったシステムを展開し始めている。

現場の図面をタブレット上で確認して、地盤調査や施工確認を行い、写真を撮って、その場でタブレットから報告用のサーバにアクセスし、報告することができるシステムである。この報告システムでも、IDとパスワード管理が重要であるため、タブレットの貸出時に十分に注意するように指導している。

対策のポイント

チェック

- 「情報セキュリティ5か条」の取り組みについて、サポート人員が実業務に照らし合わせて実施の有無をチェック。

宣言

- 管理者より経営者に対して自己宣言の目的、一つ星の取り組み内容を説明し、了承を得て宣言した。

宣言後

- 「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」などで、自社のセキュリティ状況を確認し、必要な対策を検討する。
- 従業員のセキュリティ意識の度合いを確認する。